

学びの最大化～2学期始業式校長あいさつ～

2学期始業式で全校生徒に話をした、二つの2学期の重点目標を紹介します。

一つ目 おおとり祭での学びを最大化する

1年生の皆さん。長崎にまつわるさまざまな場所で、さまざまなことを見学し、話を聞き、体験してきましたね。先日、長崎市外のある学校の先生に、「長崎中は徒歩や電車などでさまざまな学習や体験ができて良いですね。うらやましいです」という話をいただきました。学校以外の場所で学ぶためにはいろいろな労力が必要です。うらやましい環境に労力をかけて学んできた成果。おおとり祭での発表が本当に楽しみです。チーム1年生でその学びを大きく大きくしてください。

2・3年生の皆さん。長中マルシェに向けて、各社準備の方はいかがでしょうか。地道な作業の真っ最中で、結構大変という会社も多いかもしれません。この夏、教頭先生は九州各地の教頭先生が集まる会議、同様に私は九州各地の校長先生が集まる会議に参加してきました。そこで起業体験の取組を紹介すると何が待っているか。質問攻めです。この起業体験学習もまた、うらやましいと思われるような取組であり、さまざまな人の支援をうけつつ、生徒のみなさんそして先生方が労力を惜しみなくかけて学びを続けてきました。

おおとり祭での学びを最大化する。多くの人を招き、起業体験学習に関わる全ての人を笑顔にすべく、これからも努力を重ねてください。

二つ目「学びたい」「学ばないといけない」気持ちを形にしてい

夏休み。学校での学習会に参加して学習に励む3年生の姿を多く見ました。暑さ厳しい中、なぜ、わざわざ汗を流して学校に登校し、勉強するのか。「行きたい高校に進学したいから」これが答えではないかと思えます。学ばないといけないという気持ちの高まりを感じます。

1学期末の学校評価にある「家庭学習の習慣が身につけている」という質問に対する、「非常にそう思う」「そう思う」と答えた長中生の割合は61%です。逆にいえば39%は家庭学習の習慣がついていないということです。

今日も言います。「命は時間」です。「勉強せんばなあ」という気持ちは多くの人の心の中にあるはず。その気持ちを形にして勉強に時間を使う。どうかスマホやメディアに時間を奪われない、つまり命を奪われないでください。

先生方も、みなさんに「学びたい」と思ってもらえるような授業作りに努力しています。「学びたい」「学ばないといけない」を形にしていましょ

夏休みの「感動」集

「運動不足と感動不足に注意」と呼びかけたこの夏休み。長中生はこんな感動体験をしたようです。

- 映画に感動。(某アニメ映画を多数が鑑賞。戦争や日本の文化を題材とした映画やテレビドラマ、歌舞伎やコンサート、スポーツ観戦などもありました)
- せみの鳴き声が切ないこと。
- 塾帰りにただの真っ暗な夜の景色をみると、昼から夜まで勉強を頑張ったご褒美の気分になった。
- 花火・長崎の美しさ・海・星空・ランニングの途中に見上げたきれいな夕日・ピンクの空など。
- 北海道・万博・東京・甲子園・福岡・雲仙地獄など、旅行での体験や景色。
- 茨城の道が長崎と比べてとても平らで歩きやすかった。
- 部活動の練習を頑張った。いい試合ができた。試合に勝った!
- 妹が家族みんなのイラストを描いてくれた。
- 父がテストを応援してくれた。
- 乱暴だったところが料理の手伝いをしていた。
- 長い付き合いの友と一緒に発表会そしてその友との別れ。
- 友だちの心が広がっていた。友だちが優しかった。
- 実力テストで自分の成長を実感!!



駅伝練習に励む姿に感動!!